

ストックホルムでワルツを (2013)

MONICA Z
WALTZ FOR MONICA

メディア 映画

ジャンル ドラマ 音楽 伝記

製作国 スウェーデン

色彩 Color

時間 111分

初公開日 2014/11/29

公開情報 ブロードメディア・スタジオ

映倫 PG12

【キャッチコピー】

傷ついても
前を向いて
少しだけ
夢に近づく。

【解説】

スウェーデンを代表するジャズ・シンガー、モニカ・ゼタールンドの波乱に富んだ人生を映画化した音楽伝記ドラマ。主演はスウェーデンのミュージシャンで、これが映画デビューとなるエッダ・マグナソン。監督はデンマーク出身のペール・フライ。スウェーデンの田舎町に暮らすシングルマザーのモニカ。電話交換手の仕事をしながらも、ジャズ・シンガーとしての成功を夢見る日々。そんなある日、ジャズ・クラブのステージに立つ彼女の歌声を聞いた評論家から、ニューヨークで歌うチャンスをもたらすモニカだったが…。

【クレジット】

監督	ペール・フライ	Per Fly	
製作	レーナ・レーンバリ	Lena Rehnberg	
脚本	ペーター・ピッコ	Peter Birro	
撮影	エリック・クレス	Eric Kress	
美術	ヨセフィン・オースバリ	Josefin Asberg	
衣装	キッキ・イランダー	Kicki Ilander	
編集	オーサ・モスバリ	Asa Mossberg	
音楽	ペーター・ノーダール	Peter Nordahl	
出演	エッダ・マグナソン	Edda Magnason	モニカ・ゼタールンド
	スヴェリル・グドゥナソン	Sverrir Gudnason	ストゥーレ・オーケルベリ
	シェル・ベリクヴィスト	Kjell Bergqvist	ベント
	ヴェラ・ヴィタリ	Vera Vitali	